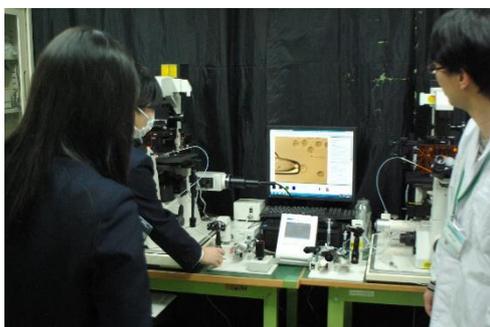


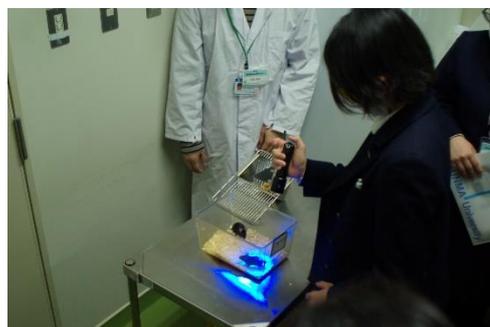
SS-Lecture 最先端生命科学セミナー

平成 30 年 3 月 24 日(土) 群馬大学生態調節研究所

昨年度に引き続き、群馬大学生態調節研究所にて、「最先端生命科学セミナー」が実施されました。参加者は 16 名、1 年生、2 年生とも 8 名ずつの参加でした。内容は、前半が「ゲノム編集が切り拓く未来」との演題による講演と、「遺伝子組換えマウス作製」に関する体験実習でした。今後、ゲノム編集の技術が進み、病気を発症する遺伝子をゲノム編集によってなくすなど、今後、ゲノム編集による医学の発展が期待できるとのことでした。後半は「重粒子線治療について」の講演と施設見学でした。副作用が少なく局所的に治療ができる重粒子線の利用は、がん治療に大きな影響を及ぼしているとのことでした。また、一般には公開されていない重粒子線治療施設のバックヤードも見学することができ、大変貴重な体験をすることができました。そして最後に、女性研究者による、「研究者への道のりと研究の楽しさ」と題した講演があり、研究者を目指す生徒にとっては、たいへん参考になるお話を聞くことができました。



卵に遺伝子を導入する機器の操作体験



GFP 導入マウスの観察



重粒子線照射施設



閉会行事での質疑応答